当院をご利用の皆様へ

入院のご案内

地方独立行政法人
栃木県立岡本台病院

岡本台病院は

基本理念

患者さん一人一人の人権を尊重し、県立病院として求められる良質な精神医療を提供するとともに、地域の関係機関と連携し、栃木県の精神医療の健全な発展に貢献します。

● 県立病院です。

令和４年４月に地方独立行政法人となりましたが、
引き続き栃木県における政策医療（主に以下の３分野）を推進していきます。

- ◆ 精神科救急医療
- ◆ アルコール等依存症医療
- ◆ 医療観察法医療

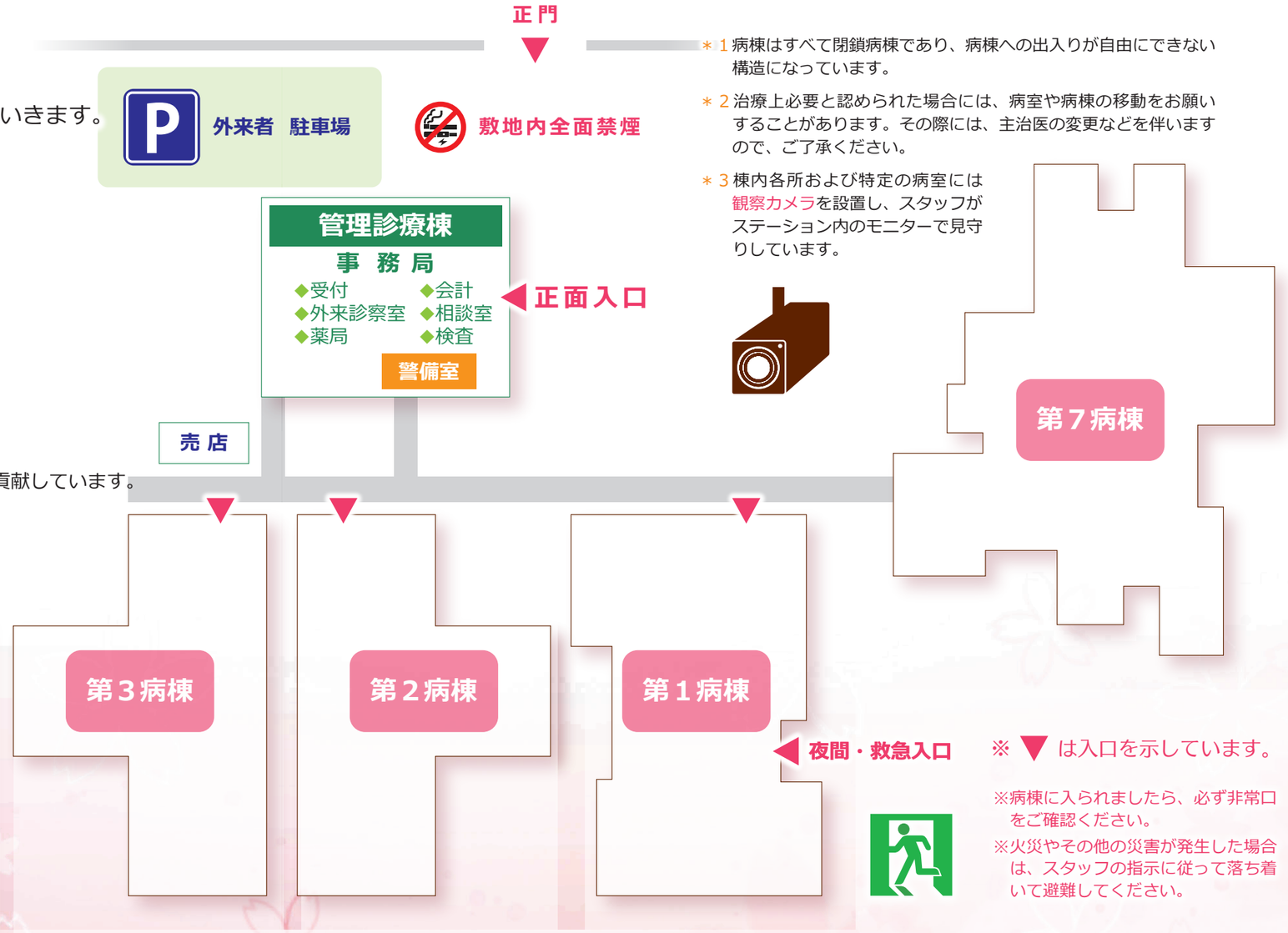
● 精神科を専門とする病院です。

当院での医療は、精神保健福祉法または医療観察法に基づいて実施しており、
患者さんの基本的人権を尊重し、安全・安心かつ高度な医療を提供しています。

● 教育・研修する病院です。

・学生実習を受け入れ、医療系教育に貢献しています。
・初期研修医や精神科専門医研修プログラムの専攻医を受け入れ、医師育成に貢献しています。
・臨床治験に参加し、医学の発展に寄与しています。

＊ご理解の上、教育・研修・研究にもご協力ください。



＊１病棟はすべて閉鎖病棟であり、病棟への出入りが自由にできない構造になっています。

＊２治療上必要と認められた場合には、病室や病棟の移動をお願いすることがあります。その際には、主治医の変更などを伴いますので、ご了承ください。

＊３棟内各所および特定の病室には観察カメラを設置し、スタッフがステーション内のモニターで見守りしています。

※ ▼ は入口を示しています。

※病棟に入られましたら、必ず非常口をご確認ください。

※火災やその他の災害が発生した場合は、スタッフの指示に従って落ち着いて避難してください。

機能の異なる５つの病棟で構成されています。

第１病棟　病床数 ４５床
■機能：スーパー救急病棟　■算定：精神科救急急性期医療入院料
措置入院や、夜間・休日等に緊急入院される方の病棟です。
病棟の大半は個室となっています。
※結核を発症した患者さんに対応した病床（２床）も併設しています。

第２病棟　病床数 ５１床
■機能：男子閉鎖病棟　■算定：精神病棟入院基本料（15：1）
男性患者さんの病棟です。
ゆっくりと社会復帰に取り組む患者さんが比較的多い特徴があります。

第３病棟　病床数 ５１床
■機能：男女混合閉鎖病棟　■算定：精神科急性期治療病棟入院料Ⅰ
急性期治療病棟で、90日以内の退院を目指しています。
アルコール依存症の治療プログラム（ARP）はこの病棟で実施しています。

第５病棟　病床数 ５６床
■機能：男女混合閉鎖病棟　■算定：精神病棟入院基本料（15：1）
＊第３病棟の２階部分にありますが、現在休床中です。

第７病棟　病床数 １８床
■機能：医療観察法病棟　■算定：医療観察法医療
高度なセキュリティ管理のもと、
医療観察法に基づいて入院される患者さんの病棟です。

■ 入院される患者さんへのお願い

安心して治療を受けていただくために、患者さんだけでなく、ご家族にもこの冊子の内容についてスタッフが口頭で説明しますので、ご理解の上、治療に臨んでいただくようお願いします。

＊予約入院される患者さんは、入院当日この冊子をご持参ください。

様　■ あなたが入院されるのは 第　　病棟 です

■ 主治医　　■ 担当看護師　　■ 担当ソーシャル・ワーカー（PSW）

次へ

多職種による チーム医療 を提供します。

急 性 期

入院となった症状の緩和・安静と体力の回復に努めます。指示があるまでは、病室の中で静かに過ごしてください。
電話や面会もできるだけ控えるようにお願いします。

回 復 期

症状が悪化した原因やストレス対処行動についてふり返ります。自分の病気についてしっかりと学習するのもこの時期です。
SharedDecisionMaking（SDM）：患者さんの意思を尊重して治療方針を共に考えていきます。

面会 P7

退院準備期

病状の悪化を防ぐために、服薬管理や生活習慣の見直しなどを行います。日常生活機能の回復レベルの評価のため、試験的に自宅等に外泊して課題をみつけましょう。退院後の生活を支援してもらえる環境調整も重要です。

外泊 P7

外 来 診 療

治　療

❶ 精神療法
病棟担当医師が定期的に診察し、症状の評価と共に傾聴・共感などをとおして症状の緩和を図ります。

❷ 精神科薬物療法
向精神薬（抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬など）を用いて、精神的な静穏と症状の緩和を図り、副作用の発現にも注意を払います。
持続性注射製剤（LAI）：概ね月１回の筋肉内投与で効果が持続します。服薬を忘れがちな患者さんなどに有効です。

❸ 精神科特殊療法
クロザピン：
治療抵抗性統合失調症に対する治療薬で、副作用に注意しつつ慎重に投与します。

修正型電気けいれん療法：
薬物療法では効果が不十分であったり、副作用が強く出る患者さんに適応があります。獨協医科大学病院麻酔科学講座の支援を受けて、安全に施術しています。

❹ 精神科作業療法
集団または個別で行う様々な活動を通して、「こころとからだを元気にする」リハビリテーションです。退院後を見据えて、対人技能や日常生活能力の評価及び改善を図ります。入院中でも当院のデイケアを見学、体験が可能です。

❺ 服薬指導・管理
薬剤師が病棟に訪問して、使用中の薬剤の効果を確認するとともに、患者さんの「くすりに対する疑問」に専門的な立場からお答えし、退院後も継続して服薬できる環境作りをお手伝いします。

❻ 食事療法・栄養指導
入院中の食事には、エネルギー補給だけでなく治療食による食事療法の役割があります。また、栄養的に課題のある患者さんには、栄養サポートチーム（NST）による回診や管理栄養士による個別指導を行います。

検　査

❶ 検体検査
血液、尿など生体試料を用いて、貧血、肝機能、腎機能などの状態を評価します。感染症予防対策としても重要です。

❷ 生理学的検査
心電図検査、脳波検査など、患者さんから直接得られる生体信号を取り扱う検査ですので、患者さんの理解と協力が必須となります。

❸ 放射線検査
放射線を利用して身体の状態を形態的に診断します。当院ではレントゲン検査とCT検査などが実施可能です。

❹ 心理検査
臨床心理技術者が、患者さんの心理学的特性を評価し、精神科診断の補助として活用します。ご希望があれば、検査結果をお渡しします（有料）。

看　護

基本方針
1．患者さんの人権・個別性を尊重し、ニーズに合った看護を提供します。
2．患者さんを中心とするチーム医療を推進します。
3．専門職として自律し、看護の質の向上に努めます。

❶ 急性期
入院直後は症状だけでなく環境の変化などで、大きく混乱される時期です。安静を保ち、安心できる環境を用意すると共にスタッフとの関係構築や入院生活リズムに慣れていただくよう支援します。

❷ 回復期
疾病教育：
再発予防には、ご自身の病気について正しい知識を身に付けていただくことがとても重要です。「病気の理解とつきあい方」「服薬の理解と自己管理」「困ったときの対処方法」などについて学んでいただきます。

❸ 退院準備期
外来通院に向け、訪問看護や地域の支援者への引き継ぎを始めます。退院後の課題への対応策（クライシスプラン）等について相談していきます。

ソーシャルワーク

❶ 面接・相談・支援
患者さんやご家族と面接をさせていただき、患者さん一人一人に寄り添った支援を調整し、退院後も安心した生活が送れるように支援します。

❷ 地域連携
患者さんの同意の下、保健所、市町、地域の支援者等、関係各所と情報共有・連携を図り、再入院とならないように地域での支援体制を構築します。

事 務 局

❶ 医事課
入退院の手続き、行政書類の作成・提出、業者洗濯の契約、患者さんからの預かり金管理などを通じて、患者さんを支援します。

❷ 総務課
施設・設備の点検、防災、売店の管理など、間接的に患者さんの入院生活を支援します。

〈 お 願 い 〉

- 病棟生活でのお困りごとや治療上疑問に思われることは、遠慮せずにスタッフにご相談ください。
- 感染予防対策へのご理解とご協力をお願いします。
- 許可されていない私物の使用については、スタッフにご相談ください。
- 入院費の支払いは滞らないようにお願いします。お困りの際はソーシャルワーカー・医事課にご相談ください。
- スタッフや他患者さんへの暴言や暴力、ハラスメント行為はお止めください。指示に従っていただけない場合は、退院をお願いすることや警察に連絡することがあります。
- 患者さん同士で控えていただきたいこと
  金銭や私物、食べ物の貸し借り
  個人的情報の詮索
  治療への干渉
  ハラスメント的発言・行為
- 外来駐車場は外来患者さんの利用を優先しますので、入院中の患者さんのご利用はお断りしています。

次へ

自身でご用意いただくもの

- ☐ お薬手帳、他院からの処方薬／常用薬
- ☐ 普段着、寝衣、下着、靴下等の衣類
- ☐ 洗面器、石けん（ボディソープ）、シャンプー、歯ブラシ（歯磨き粉）、ブラシ等の入浴・洗面具類
- ☐ タオル・バスタオル・上履き（かかとあり、ひものない靴）等の日用品、ティッシュペーパー
- ☐ コップ（プラスチック製のもの。ガラス製・金属製・陶磁器類は使用できません）
- ☐ おむつ・生理用品・プラスチック手袋（必要な方）
- ☐ 電気シェーバー（T字カミソリはご遠慮ください）
- ☐ マスク（入院期間に相当する枚数をご用意ください）
- ☐ テレホンカード

これら以外の物品の持ち込みについては、病状に応じて判断しますので事前にご相談ください。

【 お 願 い 】

私物には、フルネームでお名前をお書きください。また、入院時にすべて揃っていなくても院内売店で購入することもできます。

【 入院の前に 】

精神科または当院への入院が初めての方は、何かとご心配なこともあると思います。事前の病棟見学も受け付けています。

病院でご用意できるもの

- ■ ドライヤー（入浴後に限ります）
- ■ 箸、スプーンなど食事摂取に必要な食器類（給食提供時のみ）

持ち込みをお断りしているもの

- ■ ベルトやひも状の部分のある衣類（パーカー、スウェットパンツなどはひもを外してご使用ください。）
- ■ 貴重品、携帯電話（公衆電話は各病棟に設置してあります）、タブレット、パソコン等の通信機器、ゲーム機器
- ■ はさみ、カッターナイフなどの刃物類、ガラス製品、化学薬品などの危険物
- ■ タバコ（電子タバコ含）、ライター、マッチ類（敷地内禁煙及び火災防止のため）

安全な療養環境づくりを心がけています。ご本人にとっては危険性がなく、良識を持って使用していただけるものであっても、持ち込みをお断りしている物品があります。
なお、入院される病棟によって使用できる物品が異なる場合がありますので、病棟スタッフにご確認ください。

事 務 手 続 き

【 入院手続きに必要なもの 】

- ☐ 診察券
  ＊お持ちでない方は、手続きの当日に発行します。
- ☐ 印鑑
- ☐ 健康保険証（医療券）
  ＊入院後も健康保険証は毎月確認させていただきます。
- ☐ 入院申込書
- ☐ 誓約書（保証人の署名、押印が必要です）
  ＊予約入院の方は入院当日、緊急入院の方は入院後最初の営業日に手続きします。
- ☐ 限度額適用認定証

【 入院費用について 】

入院費用は月末締めで計算し、翌月10日頃に請求します。入院費は定められた日までにお支払いください。
月の途中で退院された時は、当月分を退院時に請求させていただきますので精算の上、退院してください。

次へ

入 院 生 活（例）

病棟によって多少違いがあります。

6：00	起床
7：30	朝食
9：00	回診／検温 担当看護師が体温測定と健康観察を行います。
9：30	治療プログラム（p4～5参照） 作業療法、疾病教育、グループミーティングなど曜日ごとに決められた内容で実施します。 主治医の診察（精神症状の評価）、検査など
12：00	昼食
13：30	治療プログラム（p4～5参照） 作業療法、疾病教育、グループミーティングなど曜日によって決められた内容を実施します。 主治医の診察、検査、ソーシャルワーカー面談、薬剤指導、栄養指導など
18：00	夕食
21：00	消灯

■ **食事：** 入院中のお食事は、患者さんの病状や体格に合わせた栄養量の食事を提供しています。喫食状況や嚥下機能にも配慮し、食べやすいお食事をご用意します。

【 給食提供例 】

チーズオムレツ

味噌ラーメン

ゆで豚

■ **服薬：** 患者さんによって異なりますが、毎食後・就寝前にお渡しします。ご自分の薬であることを確認の上、服用してください。

■ **入浴：** 原則は月・水・金曜日の3回です。治療上必要な場合は、適宜保清できるよう支援します。

■ **洗濯：** 原則としてご家族で洗濯していただきますが、業者委託や病棟備え付けのコイン式洗濯機も利用することができます。

【 業者委託 】

料　金：月額 5,700円（税込）
利用日：毎週月・水・金曜日（返却日は毎週水・金曜日）
※業者委託をご希望される場合は、医事課にご相談ください。

【 コイン式洗濯機 】

料　金：洗濯（1回）300円 ／ 乾燥（30分）100円

電話・郵便について

各病棟に公衆電話を設置していますが、症状等により主治医の指示にて電話の使用を制限する場合がありますのでご了承ください。（使用時にテレホンカードが必要です。院内売店にて購入できます。）
ご家族等からの電話はおとりつぎできません。折り返し患者さんから電話をしていただくこととなります。
郵便物・小包等は、危険防止のため開封時にスタッフが立ち会わせていただきます。

面会について

感染予防対策のため、面会は予約制となっています。希望される2日前までに、お電話でご予約ください。

面会時間：平日午前10時から午後4時、30分間

- ●面会は一度に2名までお願いします。
- ●面会される方への症状チェックリスト、検温などにご協力ください。
- ●マスクは必ずご着用ください。
- ●面会中の飲食はお控えください。
- ●私物などの受け渡しは、看護スタッフが承ります。
- ●差し入れやお見舞品は、危険防止のため内容を確認させていただきます。患者さんにお渡しできない場合がありますのでご了承ください。

外出・外泊について

■ **外出：** 退院準備のために、病院外で活動し症状の変化を評価します。また、当院で対応困難な身体疾患については、ご家族による受診をお願いします。

■ **外泊：** 退院準備のために自宅等で生活し症状の変化を評価します。

＊外出・外泊はご家族同伴が原則です。
＊常に病院から連絡が取れるようにしてください。
＊病状が悪化した際は、速やかに病院にお戻りください。

そ の 他

- ●転倒・転落防止のため、滑りやすい履物などは使用しないようお願いします。
- ●患者さん同士のトラブルは、基本的にはご自身またはご家族間で解決されるようお願いします。
- ●病院の施設や備品を故意に破損させた場合は、修復費用をご負担していただく場合があります。

次へ

＊＊入院までの流れ＊＊

当院では、精神保健福祉法または医療観察法に基づき、基本的人権に配慮して入院治療を実践しています。

区分	説明	主な入院形態		外来診察	入院説明	検査	健康観察＊2	病棟
予約入院	m-ECT、ARP、レスパイトなど 目的が明確で計画性のある場合	任意入院	入院予約	●		●	●	
			入院当日＊1		●			●
即日入院	病状の悪化が顕著で 入院の必要性が高い場合	措置入院 医療保護入院		●	●	●		●
緊急入院	病状の急激な悪化および重症化により 夜間休日に入院が必要な場合	緊急措置入院 医療保護入院・応急入院		●	●	○＊3		●

任意入院	患者さんの意思による入院ですので、自分の意思で退院を申し出ることができます。可能な限り開放的な環境で治療が受けられるように努めます。
医療保護入院	患者さんの同意がなくとも精神保健指定医が必要と認めた場合のご家族等の同意による入院です。
措置（緊急）入院	2名（1名）の精神保健指定医が自傷他害のおそれのため必要と認めた場合の県知事の命令による入院です。
応急入院	精神保健指定医が入院が必要だと判断する病状にもかかわらず、患者さんの同意が得られずかつご家族等にも連絡がつかない場合の72時間に限り可能とされる入院です。

＊1 外来で入院説明を受けた後、病棟にお入りください。入院後は、院内感染防止のため、新型コロナウイルス抗原定量検査にご協力ください。

＊2 入院まで１週間の健康観察をお願いします。

＊3 緊急検査以外は、平日に実施します。

交通のご案内

■交通機関をご利用の場合

- JR宇都宮線・岡本駅西口から徒歩15分（タクシーで5分）
- JR宇都宮駅からタクシーで15分
- 関東バス・宝木団地発（JR宇都宮駅経由）
  「奈坪台中央（奈坪台）」行き「金井台中」下車徒歩5分
  または「釜井台団地」行き「釜井台団地入口」下車徒歩10分
- 関東バス・宇都宮駅東口発（上野団地経由）
  「JR岡本駅西口」行き「保健環境センター前」下車徒歩7分

■お車をご利用の場合

- 東北自動車道、宇都宮ICから30分
- 北関東自動車道、上三川ICから30分
- 宇都宮環状線の奈坪通り交差点から北東に進み、右折して県道157号に入り約400m進む。

地方独立行政法人
栃木県立岡本台病院
028-673-2211
〒329-1104栃木県宇都宮市下岡本町2162
https://okamotodai.jp

病院ホームページも併せてご覧ください。